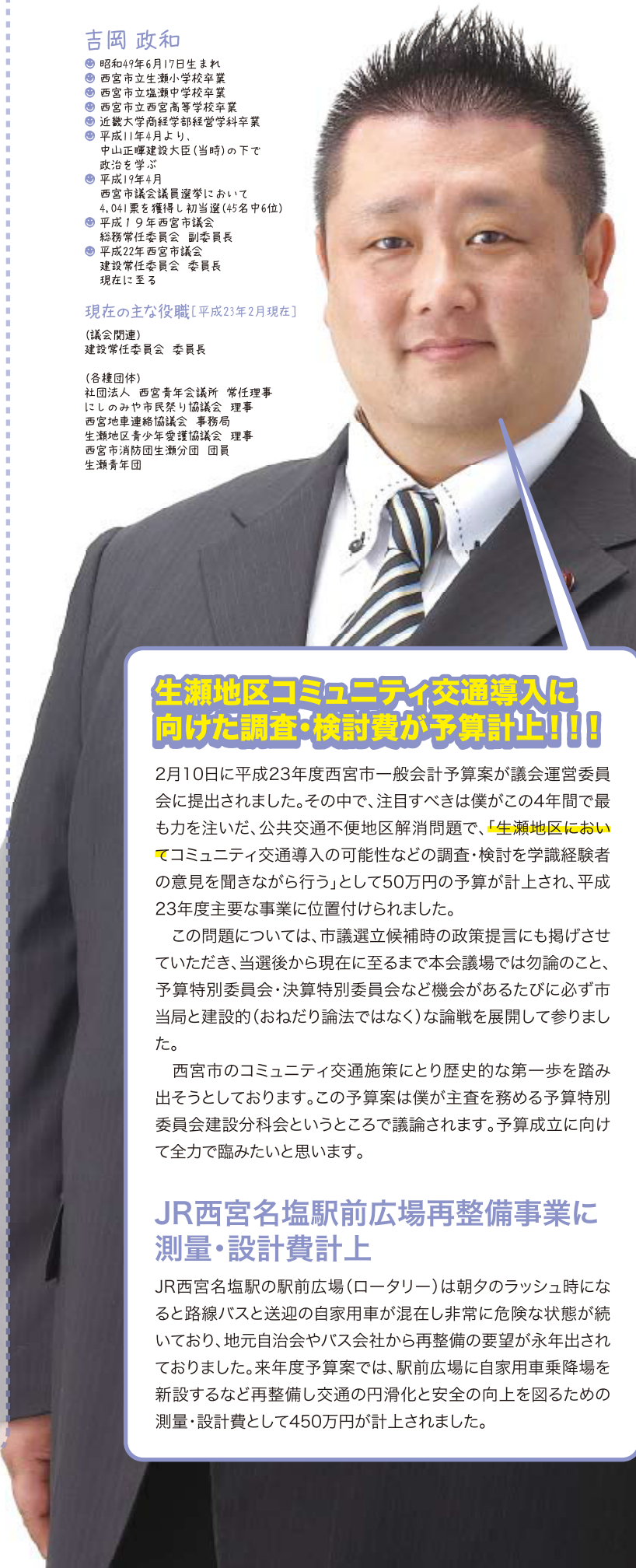


吉岡政和 よしおか まさかず がんばる レポート

I ♥ NISHINOMIYA
Yoshioka Masakazu Ganbaru Report



吉岡 政和

- 昭和49年6月17日生まれ
- 西宮市立生瀬小学校卒業
- 西宮市立塩瀬中学校卒業
- 西宮市立西宮高等学校卒業
- 近畿大学商経学部経営学科卒業
- 平成11年4月より、中山正輝建設大臣(当時)の下で政治を学ぶ
- 平成19年4月 西宮市議会議員選挙において4,041票を獲得し初当選(45名中6位)
- 平成19年西宮市議会 総務常任委員会 副委員長
- 平成22年西宮市議会 建設常任委員会 委員長
- 現在に至る

現在の主な役職[平成23年2月現在]

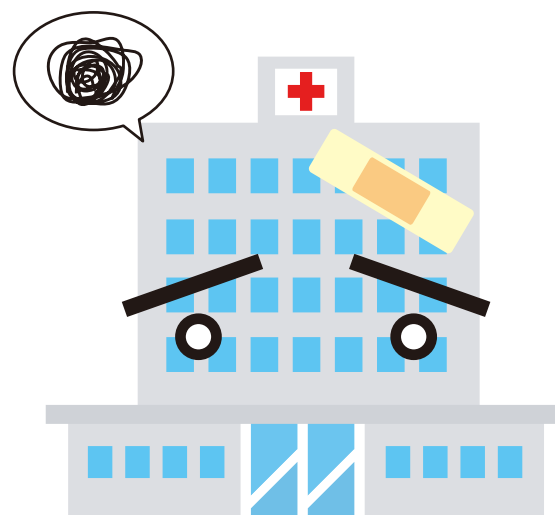
(議会関連)
建設常任委員会 委員長

(各種団体)
 社団法人 西宮青年会議所 常任理事
 にしのみや市民祭り協議会 理事
 西宮地車連絡協議会 事務局
 生瀬地区青少年会議協議会 理事
 西宮市消防団生瀬分団 団員
 生瀬青年団

平成23年、新しい年を迎えました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。僕にとり今期最後の一般質問が終わりました。これまで計8回、本会議場での質問をしましたが、課題は積もる一方です。今回のがんばるレポートでは、すべての一般質問で取り上げ、今期もっとも力を注いだ政策テーマである「公共交通不便地区解消(コミュニティバス導入)」について総合的な報告と、国道176号の統報と塩瀬福祉センターそして西宮市立中央病院について報告させていただきます。

吉岡政和へのご意見・ご質問等何でも結構です下記ハガキよりお寄せ下さい。(匿名でも可) キリトリ

これでいいのか？ 市立中央病院



中央病院の経営状況を皆さんはご存知でしょうか？

知っている方でも、「たぶん赤字かな」程度の理解度ではないでしょうか？

このコーナーでは、中央病院の現状を課題や問題点を踏まえてご報告します。

昨年の市長選挙で中央病院の移転を公約に挙げた、河野市長が誕生しました。市議会としても重要案件であることから「病院問題特別委員会」を設置して徹底議論することとなり、僕も委員としてその議論に参加することになりました。

正直なところ、僕は市北部で生まれ育ち、今まで生活してきましたので議員になるまで中央病院にお世話になる事はありませんでした。おそらく、僕以外の多くの市北部住民は中央病院に係る機会は少ないのではないかと思います。

その診察状況と言うと、総合病院と位置付けながら産婦人科は休院状態(週数回の婦人科外来診察のみ)で、脳疾患と心疾患には全く対応しておりません。何が言いたいのかと言うと総合病院と名乗るのには体を成しておらず不十分だということです。

さらにその経営状況は毎年一般会計から約10億円~20億円の費用が捻出されておりますが経営改善に好転する兆しは全く伺えません。これまでに数多くの経営改善計画・経営健全化計画・改革プランを実施し「あり方検討委員会」を設置したのですが、これも成果を得ることはありませんでした。ついには累積赤字が平成22年度当初85億円で今年度末には100億円を超える可能性もでてきました。

そこで、話は戻るのですが昨年の市長公約で「中央病院移転」を公約に掲げた河野市長が誕生しました。今の中央病院は公立であるから、赤字が出ても親会計(市本会計)が補填されますが、私立病院でしたらとっくに倒産しています。現在の中央病院へ通院する市民は病院周辺の中学校区の市民が70%を超えており、市民全体の病院というには少し無理があり、門戸厄神周辺の地域病院と位置付けられても不思議ではありません。

もし移転されるのであれば、市民病院という役割を全市的にカバーできる市民のための病院にリニューアルされる必要があります。たとえ赤字が出ても市民に納得できる存在にならなければなりません。本当にそんな病院を建設することができるのか？移転ありきの議論で結論を得ないものか心配です。

移転費用の概算は150億~200億かかるそうです。地域医療の在り方は多種多様です。必ずしも核病院が必要と言う訳ではありません。市内数カ所に小規模医療センターを整備し、時間外や休日などの診療や健康相談を充実させて、地域病院のフォローをするというのも立派な地域医療の在り方です。今後も多角的な議論を展開していきたいと思えます。

生瀬地区コミュニティ交通導入に向けた調査・検討費が予算計上!!!

2月10日に平成23年度西宮市一般会計予算案が議会運営委員会に提出されました。その中で、注目すべきは僕がこの4年間で最も力を注いだ、公共交通不便地区解消問題で、「生瀬地区においてコミュニティ交通導入の可能性などの調査・検討を学識経験者の意見を聞きながら行う」として50万円の予算が計上され、平成23年度主要な事業に位置付けられました。

この問題については、市議選立候補時の政策提言にも掲げさせていただき、当選後から現在に至るまで本会議場では勿論のこと、予算特別委員会・決算特別委員会など機会があるたびに必ず市当局と建設的(おねだり論法ではなく)な論戦を展開して参りました。

西宮市のコミュニティ交通施策にとり歴史的な第一歩を踏み出そうとしております。この予算案は僕が主査を務める予算特別委員会建設分科会というところで議論されます。予算成立に向けて全力で臨みたいと思えます。

JR西宮名塩駅前広場再整備事業に測量・設計費計上

JR西宮名塩駅の駅前広場(ロータリー)は朝夕のラッシュ時になると路線バスと送迎の自家用車が混在し非常に危険な状態が続いており、地元自治会やバス会社から再整備の要望が永年出されておりました。来年度予算案では、駅前広場に自家用車乗降場を新設するなど再整備し交通の円滑化と安全の向上を図るための測量・設計費として450万円が計上されました。

吉岡政和にもの申す!!

ご意見欄 どちらもお寄せください



~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

お名前 TEL

ご住所

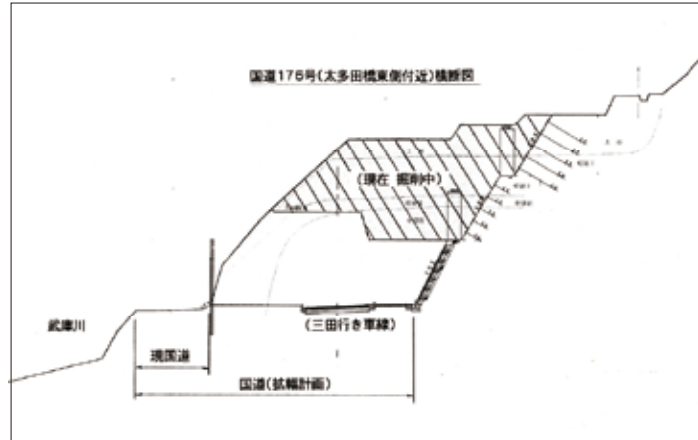
お問い合わせ先 吉岡政和(活動事務所)
 〒669-1102 西宮市生瀬町1丁目12-9 電話 0797-75-3397 FAX 0797-75-5230
 メールアドレス dm-10.masakazu@h6.dion.ne.jp ホームページ http://www.yoshiokanavi.jp/

国道176号線 その後の対応について

前回の「がんばるレポート」で、全会一致で国道176号の早期完成に向けての意見書を報告させていただきましたが、今回はその後の国の対応と現在の工事個所の紹介をさせていただきます。

意見書提出の効果かどうかは分かりませんが、補正予算で8億7千万円の増額補正がされました。この金額であっても早期完成に繋がる決定打にはなりません。当初予算の1億円のみでしたら道路予定地の管理費用で消えてしまうので工事そのものに予算が配分されたという意味では少しだけ前進したのかと考えられます。いずれにせよ、これまでは年間約20億円の予算が投入されていたのに対して、今年度は補正を入れても10億そこそこのので、176号工事の早期完成という一面においてはスピードダウンしてしまったと言わざるをえません。

これからも引き続き、市議として出来る限りのことをして参りたいと思います。また、現在進行中の工事である塩瀬町太田多橋東側の掘削工事について図を付けさせていただきます。この工事は今年中に完成し、来年には太田多橋西側のトンネル工事に着工する予定です。



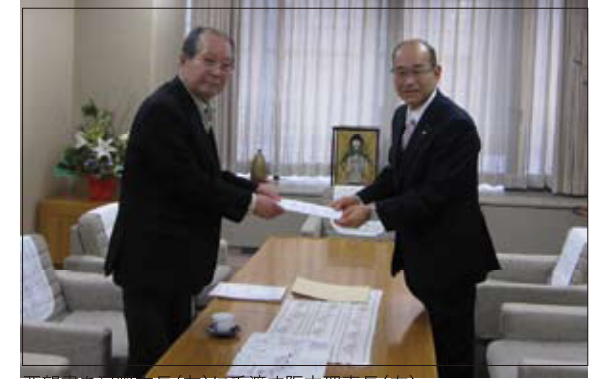
国道176号(太田多橋東側付近)横断面図

生瀬地区コミュニティバス 導入に向けて

生瀬地区コミュニティバス導入に向けての来年度予算要望書を、生瀬地区自治会連絡協議会の阪本理事長が河野市長に要望書を手渡しました。僕も同席させていただきました。

要望書の文面も掲載しますので、ご一読ください。

西宮市には24カ所の公共交通不便地区が存在することを僕の一般質問の中で、市は明言しました。その中でも、悪環境第1位の地区は生瀬地区であることを、昨年の9月議会では僕は本会議場で地理データを使い当局に訴えました。その後の12月議会では、採算性についての最終的な議論を展開させていただきました。その中で、コミュニティバス事業の赤字額の80%は国から特別交付税処置を受けることができ、残り赤字額の6%程度は県の補助金で賄われることを示し、実質、市の負担は赤字額の14%程度で済むことを取り上げて、例えば年間1000万円の赤字が出ると、国と県から860万円の補填処置があり西宮市の実質の負担は140万円ということになり、人口1万人の町に年間140万円支出することは1カ月12万円程度の支出であり、その効果として引きこもり老人を減らしたり、空き家率低下など、町の活性化に繋がるのであれば支出金額としては妥当であるという意見を主張しました。



要望書を河野市長(左)に手渡す阪本理事長(右)



三重県尾鷲市のふれあいバス

要 望 書

西宮市長
河野 昌弘 殿

生瀬地域の公共交通不便地区解消に向けた来年度予算計上について

生瀬地区自治会連絡協議会
理事長 阪本 和夫

平素より、生瀬地区における行政全般にわたり格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年の8月17日に、生瀬地区全般に係わる要望書を当会から河野市長様に提出し、その後ご丁寧な回答書を頂いております。このたび来年度予算の編成にあたり、要望書中の最重要課題の一つである公共交通不便地区の解消に向け、改めて下記の通り要望書を提出いたします。

生瀬地区住民(特に青葉台・花の峯・生瀬高台・宝生ヶ丘の住民)にとっては、現在のJR生瀬駅や国道176号を走る阪急バスしか利用できない公共交通を取り巻く環境は極めて苛酷です。地区では高齢化が進んでおり、高齢者をはじめとする社会的弱者は、

- 地区住民にとっては宝塚駅周辺が生活圏ですが、日常生活の中で病院、買い物、文化活動に出かけるにもJR生瀬駅や阪急バスのバス停から遠く急な坂道に面しており、駅までの移動が困難である。
- 生瀬駅がバリアフリー化されていない。

このようなことからコミュニティバス運行の実現は、積年の切なる願望です。地区住民の中には日常生活が出来ないと判断し、住み慣れた土地から離れていく事例も、昨今多く見られるようになってきました。

このような中、青葉台地区では、ボランティアで自家用車を走らせての試験運行も実施していますが、料金を徴収することが道路運送法等に抵触し、暗礁に乗り上げています。

お隣の宝塚市では、コミュニティバスが市長様のご英断により、各種補助金を投入され実現をしています。

是非西宮市も河野市長様のご英断により来年度には、快適な市民生活確保の面からも、市による当地区の各地域への循環バス等の試験運行を、宝塚駅まで実施していただきますようお願いいたします。

なお試験運行には、当地区を挙げて取り組みます。

以上



郵便はがき

6 6 9 1 1 9 0

吉岡政和事務所 行

西宮市生瀬町二丁目十二十九

塩瀬センター健康相談室が、 保健福祉センターとして リニューアルされます。

これまで塩瀬センター健康相談室は保健師2名で対応し、平成21年度は健康相談延べ1825名のケアをしてまいりました。利用者増加に伴い職員を増員し健康福祉センターに格上げされます。

新たな業務は、これまで保健所のみで対応していた、精神・難病関係の相談や医療費公費負担の申請、予防接種費用助成などの手続きを行う「申請受付窓口」などです。

不明点は0798-35-3308(地域保健グループ)までお問い合わせください。

地域保健グループ

0798-35-3308

